

設計ミス内容一覧表【河川関連】

ファイル番号	ファイル名	設計点検チェックシートの項目			ミス内容
		シート名	セル	項目	
H24-W10	樋門	樋門5	W7	単位堆積重量	放流ボックスカルバートの設計で、支持地盤の単位堆積重量が地下水を考慮した水中の値となっていない。
					土の単位体積重量が、上流側樋門と下流側樋門で異なり、その設定根拠が不明確。
		樋門4	AH26	遮水工	水平方向の浸透路長の検討で、地盤をやわらかい粘土として計算しているが、函体側面には砂礫または砂の層が分布しており、また、埋戻土・堤体盛土も函体側面に施工される。安全側を考えれば、砂礫又は砂、若しくは盛土材の加重クリープ比を使用すべき。
H24-W30	護岸	護岸工	AB45	法覆工の力学的安定性の照査	排水工の護床工が設計図面と不一致。 排水工流出部の護岸工が報告書では護床ブロックの採用となっているが、設計図面に記載されているのは袋詰玉石となっている。
			AB32	根固工の力学的安定性の照査	護岸法覆工のかごマットの材料仕様、中詰石材料仕様等の記載がない。 … 鉄線籠型護岸の設計・施工技術基準(案) 参照
			AB24	最深河床の評価	護岸工の根入れ長の決定根拠不明 護岸工の根入れは、本川側の護岸根入れ長さを考慮して決定すること。 決定根入れ長さについてその根拠を記載すること。
					低水護岸基礎の根入れが不足している。
					護岸工詳細図 ・ブロック積護岸工の基礎延長が間違っている。基礎の根入れが考慮されていない。 ・測点番号が平面図と不一致また展開図点間距離が不一致
護岸工構造図 ・護岸工の天端長さが曲線部のブロック勾配分の開きを考慮して計算されていない。 また、護岸工の基礎延長に根入れ長さが考慮されていない。 ・護岸工(ブロック積)の標準断面図を記載のこと。軟岩部掘削カ所のペーラインについても記載のこと。					
AB16	代表流速 $V_0$ の算出	護岸の力学設計に基づく安定計算において、代表流速・設計水深の根拠が不明。			
H24-W40	砂防えん堤	砂防えん堤	X17	水通し部	垂直壁の水通し断面が設計基準と不適合。 垂直壁の水通し断面は基準によれば本堰堤の断面と同一と規定されているが、本設計においては下流の取り付け水路断面に一致させているのは基準に不適合である。
		砂防えん堤1	X25	数値諸元	堰堤のコンクリート単位体積重量が間違っている。
		砂防えん堤2,3	W17	堤体の根入れ	軟岩(DM~CL層)に対して安定計算では軟岩の条件としているが、根入れでは土砂扱いとしており、整合がとれていない。
			W37	間詰	床固工両岸の工事掘削後の埋め戻し法面に対して保護工が計画されていない。 法面崩壊等を防止するため良質土による埋め戻しを行い、植生工を施すこと。 床固工正面図の法勾配記載なし。
				階段及び水路の設置するために地山を大きく開削しているが、両サイドの切土法面について法面保護工が施されていない。 法面の崩壊を防止するため植生工を施工すること。一般的には種子吹きつけ工、張り芝等が適する。	